

総合心理学部総合犯罪心理学科 履修系統図

必修科目

学年 科目区分	1年		2年		3年		4年		身につく 知識・能力
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
一般 教養 科目	英語 I	英語 II	英語講読 I	英語講読 II					大学生として必要なりベラルアーツを身につけると共に、この先の学びの土台を形成する。特に、心理学を学び研究する上で必要な英語力を身につける。
	情報リテラシー I	情報リテラシー II	情報リテラシー III						
	ドイツ語 I	ドイツ語 II							
	フランス語 I	フランス語 II							
	経済学	法学							
	政治学	経営学							
	日本史 A	日本史 B							
	西洋史 A	西洋史 B							
科学哲学	哲学史 B								
哲学史 A									
体育									
基礎 教養 科目	人間環境学	犯罪心理学概論 (犯罪の発生、解決、予防の理解)	こころの安心・安全学	心理学とキャリア					本学において犯罪心理学を総合的に学ぶための土台となる知識と視点を身につける。
	心理学概論	こころとは何か (動物・人間・AI)	科学と人間 (科学の可能性と限界)						
	こころは数値化できるか								
基礎 スキル 科目	基礎ゼミナール (初級心理学実習)	心理学研究法	心理学統計法 II	心理学実験 I	心理学実験 II	心理学実験計画法			犯罪心理学を「する」ための様々なスキルを身につける。具体的には、研究法 (実験法、調査法)、統計法、データ解析法、英文の学術文献を読み、書くスキル等を修得する。
		心理学統計法 I	心理学調査実習		心理学テクニカルライティング	心理調査計画法			
			心理データ解析法		心理学英語文献講読	心理臨床領域における研究法			
基礎 専門 科目	発達心理学	臨床心理学概論	葛藤解決の心理学 (自由とルールの狭間で生じるトラブルの解決方法)	異常心理学 (こころの病のメカニズムを知る)	神経・生理心理学	進化心理学 (こころの由来)	教育・学校心理学		犯罪心理学を包含する心理学には多くの専門領域がある。それぞれにおけるより深い知識と視点を修得する。
	コミュニケーションの心理学 (すれ違いで生じる犯罪とその解決)	感情・人格心理学	知覚・認知心理学	学習・言語心理学	産業・組織心理学	司法・犯罪心理学			
			比較認知心理学 (こころの進化と多様性)	社会・集団・家族心理学 健康・医療心理学	文化心理学 (国際コミュニケーションのために)				
高度 専門 科目 I	総合犯罪心理学プロゼミナール I	総合犯罪心理学プロゼミナール II	偏見・差別と犯罪 (個人と社会のステイグマから犯罪を知る)	テロリズムの心理学	比較発達犯罪心理学 (罪を犯すこころの進化と発達)	新しいこころの計測学 (脳活動と生理反応からみるこころ)	アドバンスト心理療法 III (遊戯・芸術療法)	アドバンスト心理療法 V (人間性心理学)	犯罪という切り口から心と社会の問題を規模・スケール軸 (個人内・個人間・社会・国家・サイバー空間) と時間軸 (罪の起源や発生・犯罪予防・犯罪の発生や捜査・支援・更生) の 2 軸から扱うことのできる総合犯罪心理学科の高度な心理学講義である。興味を持った専門的なトピックを自ら選択し、学びを深める。そのことにより、現代社会に対するより深い理解と、そうした問題に対する心理学的解決を目指す、さらなるモチベーションを高める。
			依存症の心理学	サイバー犯罪の心理学	身体の心理学 (自己制御のための心身論)	認知加齢と予防科学 (こころと社会の健康を考える認知健康科学)	アドバンスト心理療法 IV (精神分析療法)		
			被害者の心理学	犯罪の認知心理学	ギャンブルの心理学	心理的アセスメント			
高度 専門 科目 II			意思決定の科学	子どもからおとなへの認知発達 (生涯発達心理学 II)	高齢者の世界 (生涯発達心理学 III)	赤ちゃんの世界 (生涯発達心理学 I)	アドバンスト心理療法 III (遊戯・芸術療法)	アドバンスト心理療法 V (人間性心理学)	現代社会の諸問題とリンクする高度な心理学講義であり、興味を持った専門的なトピックを自ら選択し、学びを深める。そのことにより、現代社会に対するより深い理解と、そうした問題に対する心理学的解決を目指す、さらなるモチベーションを高める。
			ストレス科学	マーケティングの心理学 (売る側の心理学)	ポジティブヘルス論 (健康生成の心理学)	モチベーションの心理学	アドバンスト心理療法 IV (精神分析療法)		
			色彩の心理学	バーチャルリアリティの心理学	顔認知とコミュニケーション	マインドフルネスの心理学			
演習 科目			消費者の心理学 (買う側の心理学)	視覚の心理学	アドバンスト心理療法 II (認知行動療法)	アドバンスト調査実習 (アンケート調査作成の実践)			犯罪心理学を総合的に研究するプロセスに慣れ親しみ、実際に卒業論文を作成する。知を「学ぶ」のではなく「生み出す」苦しさを楽しさを味わう。
			恋愛心理学	アドバンスト心理療法 I (行動療法)	心理学統計法 III	心理プログラミング			
師公 関連 心理	人体の構造と機能及び疾病	精神疾患とその治療	障害者・障害児心理学	福祉心理学	公認心理師の職責	関係行政論	心理実習	心理実習	上記の他、公認心理師の受験資格を得るために必要な科目群。専門家に求められる高度な見識を身につける。
			心理学的支援法			心理演習			
学年ごとの 人材育成 目標	大学生としての基本的な知識と姿勢を身につけ、犯罪心理学を総合的・専門的に学ぶための土台作りをする。また、大学生として生活するためのリズムをつかむ。		犯罪心理学を包含する心理学という学問の広さを知り、それに対して賞欲に向かっていくことで味わえる喜びを知る。また、その中で自身のより専門的な興味や適性を見極める。同時に、犯罪心理学を研究するための基本的なスキルを身につける。		心理学的知識やスキルを身につけるだけでなく、自身の専門的関心を絞り、深めていく。そして、犯罪心理学を自身の将来に、また社会に活かせるように、そうした知識とスキルを磨く。		実際に心理学実験や調査を行い、卒業論文を作成するプロセスにおいて経験する挫折と達成感を通して、心理学による人格の完成を目指す。自身の将来をしっかりと見据え、犯罪心理学を総合的に学んだ者としての自信と誇りを持って卒業する。		